

KEY TOPIC

## 中広グループ今期の注目トピックス 第47期を総括する

今期も残すところあとわずか。全国各地で行った『地域みっちゃん生活情報誌』の新創刊や拠点の開設、VC加盟契約締結による頼もしい同志の増加、「全員経営」を旗印としたグループの仲間達の知恵と行動力の集結を始め、さまざまな出来事や事業の推進がありました。なかでも特筆すべき3つのトピックスを第47期の総括として詳細に振り返ります。

### より高い反響を広告主に ハイブリッド広告の深化

ハイブリッド広告は、『地域みっちゃん生活情報誌』の誌面に掲載したQRから直接、クライアントのWEBサイトやSNSにつなげる仕組みです。情報発見・WEBサーチ・サイト移動・ページ移動という煩雑な手順を省き、スマートフォンでQRを読み込めば目的の情報に辿り着けるため、消費者にとって非常に利便性が高いのがメリットです。また、誌面ではサイズやスペースの都合上、消費者に伝えきれなかった情報も、WEBならより詳細かつ深く伝えることができます。つまり、誌面とWEBのポテンシャルを最大化させて情報拡張し、高反響につなげる仕組みがハイブリッド広告。チラシと違い、情報誌には毎月、読者の消費意欲を刺激する、季節や市場動向に即した多彩な企画が掲載されています。こうした企画で読者の興味を引き、掲載広告に目を留めさせ、WEBに誘導する。『地域みっちゃん生活情報誌』だからこそ効果を最大化できる手法です。

今期、スローガンである「Data Driven」で『地域みっちゃん生活情報誌』の反響データ収集→データ分析・解析→可視化と言語化→現場アクションを駆動させた結果、企画や原稿表現は過去の高反響事例をもとに先鋭化されました。これによってハイブリッド広告は、より反響が期待できる仕組みとして深化しました。

例えば、2024年7月号から8月号にかけて各誌で掲載したかき氷企画では、多くの掲載商品で非常に多くのQR読取数を記録。地域の消費者である読者が、積極的に深掘り情報を得ようと能動的に動いた結果です。さらに、全掲載誌のなかでトップのQR読取数を記録したかき氷は「高価格商品」「割引クーポンなし」という原稿でした。ハイブリッド広告による即時の情報拡張により読者の興味を増し、「高価でも特別な体験」を求めている読者を動かした好例です。



読み取り回数  
1,901回

1,600円と高価格帯のかき氷ながら1か月の読み取り回数は1,901回を記録

### 地域活性化のために 独自生成AIを開発

世の中では各企業でAI導入が進んでいます。当社では独自生成AIを開発し、社内の原稿制作システムに実装しました。

「CAI(解)」と名付けた生成AIの役割りは主に2つ。ひとつは従来よりも高付加価値な原稿の制作です。AIが膨大なWEB情報を学んで原稿を制作するため、当社の担当者や広告主ですら気づかなかった切り口の提案や、店舗・商品の魅力に深くクローズアップした原稿制作を可能としました。実際に使った仲間達からは「自分とは違う部分に焦点を合わせた原稿が生成されて驚いた」など、好評を得ています。もうひとつの役割りは社内の生産性向上で、効率化で生み出された時間は、読者の満足度を高めるためのクリエイティブに使います。

また、CAIは業務用生成AIではなく、ハイブリッド広告で集積した地域ごとの嗜好性や特性、または店舗属性ごとの反響傾向などを分析するマーケティングツールへの発展までを視野に入れており、企業や地域のより良い成長にも寄与する予定です。

### 内容も規模も拡大した 児童虐待防止運動

当社グループでは従来より、児童虐待を世の中から無くすために『地域みっちゃん生活



自社の業務効率化だけでなく、その先の展開まで見据えた独自生成AI



各地の教育委員会や団体から音源提供の依頼が届いている「189のうた」

情報誌』を使った児童相談所虐待対応ダイヤル189番の啓発を行ってきました。前期からは11月に国が推進している児童虐待防止推進月間に歩調を合わせ、全国各地のシンボリックな建物をオレンジ色にライトアップするオレンジシンボル運動を開始しましたが、今期はこの数を前期の約10倍となる1,105カ所に拡大できました。同時に、子どもたちに向けて189番の周知を行うべく「189のうた」を作成。学校への音源無償提供も開始し、多くの学校の校内放送で取り組んでいます。こうした活動が評価され、CHUCOgroup児童虐待防止運動は、文部科学省と子ども家庭庁から後援を得る取り組みへと成長。今期1,300万部を超えた『地域みっちゃん生活情報誌』は社会課題の解決に向けて、大きく一歩を踏み込むことができました。

『地域みっちゃん生活情報誌』の広告の価値をより高め、業務効率化と社会課題の解決に大きく踏み出した今期。来期もこれらを推進し、社業を発展させてまいります。

COLUMN

## —知・好・楽—

### 「地方創生2.0」主役はいまここに暮らす人

#### 「令和の日本列島改造」へ 施政方針演説を読み解く

梅が咲きました。2月は大寒波・冬将軍に悩まされましたね。地球が温暖化すると、寒暖差が激しくなり、極端に冷える日もあるとか。桜の開花が待ち遠しいです。

石破首相の施政方針演説を読みました。先の選挙で少数与党となった自公です。どんなスローガンを掲げ、何を重点的にやるのかを注視しました。

基本軸は「楽しい日本」を目指すです。明治維新後の「強い日本」、戦後の復興・それに続く高度経済成長下の「豊かな日本」に対し、これからは故郷屋太一さんが提唱した「楽しい日本」を目指すのだと主張。「楽しい日本」を実現するための政策の核心を「地方創生2.0」とし、「令和の日本列島改造」の覚悟で強力に進めるとの意気込みを示しました。「地方創生2.0」は5本の柱で構成されています。

1本目は、若者や女性に選ばれる地方です。地方経済を支える企業に働きかけて賃金が上がっていく体制を創り出し、若者や女性が暮らしたいと思える環境を目指す。

2本目は産学官の地方移転と地方創生です。まずは官が一歩前に出て、防災庁などの政府機関の地方移転を推進する。

第3の柱は、地方イノベーション創生構想の実現です。これまでの反省を踏まえ、地方における新結合を通じた新たな産業分野の創造やイノベーションを開花させる、としています。

4本目の柱は新時代のインフラ整備です。DX・GXを支える新時代のインフラを軸として、産業拠点・生活拠点の再配備を図る。

5本目の柱は広域リージョン連携です。都道府県域を超えた広域連携の新たな枠組みの構築を強力に推し進める。

石破政権ならではの目新しい柱があるわけではありませんが、いずれも国家的プロジェクトを組まないといけない大きな柱ばかりです。具現化するには、石破首相の強烈なリーダーシップと与野党の垣根を乗り越えた政治家たちの覚悟が必要です。

地方創生が重視される理由は、少子高齢化による人口減少です。地方の過疎化が進み、若者の流出と高齢化が進む現状を放置すれば、社会インフラの維持や地域経済の活性化は困難になります。残された時間は多くありません。中広グループが発行する『地域みっちゃん生活情報誌』は、34都道府県で181誌、1,339万部です。発行の目的は「地方創生2.0」と同根、日

本を元気にするためです。地方創生の重要性を強く認識し、そのために果たすべき役割があるという使命感を強く持っています。

#### 経済的な豊かさとして見る 「楽しい日本」の真意

石破首相は「楽しい日本」を、「全ての人安心と安全を感じ、自分の夢に挑戦し「今日より明日は良くなる」と実感できる。互いに尊重し合い、自己実現を図っていく。そうした活力ある国家」と定義しています。

人は楽しいと感じることで幸せになったり、モチベーションが高まったり、創造性を発揮できます。主観的な感情であり、人それぞれ、その時々によっても異なります。それを国家観として一括りしてしまうのは強引です。



好之者不如楽之者

しかし、「経済的な豊かさ」だと捉えるならば、国家的に実現可能な目標となります。堺屋太一流に言えば、経済的に裕福な国家を持続発展させることです。もし石破首相が意図する「楽しい日本」が感情的な満足感や愉快的な気持ちを指すのであれば、それは逃げであると言えます。「楽しい日本」とは国民の可処分所得を物価上昇率以上にして、経済的に豊かな国をつくることであらねばならないと思います。

施政方針演説では「賃上げこそが成長戦略の要」と位置付け、所得と経済全体の生産性の向上を図る。そして2020年代に最低賃金を1,500円とする高い目標に努力し、賃金は据え置きで動かぬものという縮み志向を過去にしています。

賃上げが進まないのは、日本の企業の9割を占める中小企業の利益があがらないからに尽きます。下請法の改正案を提出し、大企業との取引価格の適正化を図る。中小企業の生産性向上を支援する。なんとか中小・零細企業が賃上げできる環境整備をするとの考え方には意

志を感じます。

しかし、現状では容易に賃上げはできません。中小企業者のマインドが後ろ向きだからです。解消するには、大企業が内部留保している剰余金を従業員に還元し、大幅に賃上げすることです。そうすれば中小企業者も追随します。賃上げのために商品の価格を上げれば、正常なインフレが起き、経済は成長します。

もう一つ重要なのは、ゾンビ企業を救わない決断です。大企業の大幅な賃上げで、中小企業の淘汰・再編が一気に進みます。その際、今までのように金融機関や政府の救済措置を講じるべきではありません。人口が減少し、労働人口不足が進むなか、中小企業の淘汰・再編によって生まれる労働力を成長産業に移行する必要があります。少なくとも賃金を上げ、正常なインフレにするには、不採算産業や企業の延命策を講じない決断をできるかが鍵です。

#### 地域を知り、愛し、楽しむ 自分事化から地方創生へ

「地方創生2.0」は、地方創生の名を借りた日本創生です。国民たるもの謙虚に受け止めるべきですが、実現性に疑問を感じた人もいでしょう。それでも地方・地域が元気になる限り、この国は沈んでしまいます。そのためには、地域経済の活性化を図らねばなりません。

私は二つ申し上げたい。一つは地方に生まれ、地方に育まれ、地方に生きる我々が、今一度、この場所を深く知ることです。歴史、文化、風俗、習慣、独特の気候を学び、そこに暮らす人々、地域に、愛着を持つことです。論語にあるように、「是を知る者は是を好むものに如かず。是を好む者は是を楽しむ者に如かず」です。

もう一つは口幅ったいですが、地方の衰退はそこに暮らす人々自身の問題であると自覚を持つことです。世の中や政治、社会を責めるのではなく、自己責任として現状を受け止める必要があります。

地域を元気にするためには、『地域みっちゃん生活情報誌』を日本全国5,000万世帯にお届けせねばなりません。2月号で1,339万部、一刻も早く実現したい。そのために我々はもっと深く地域を知り、地域愛を持って地域を好み、情報誌づくりを楽しむことが求められます。

そう思いながら、いよいよ微動だにもしない、ふるさと岐阜の原風景・山紫水明・水温む清流・長良川の水音を聞きながら、芽吹き始めた金華山、その頂に聳える岐阜城を仰いでいます。  
2025・弥生・如水こと二代目後藤勲次

13,393,099部

※情報は2025年2月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯別到達率は配布部数と2月20日現在の各県の公表している世帯数で割り算し一部イレギュラーな発行に伴い3月に経過していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください

Table of magazine circulation data for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table of magazine circulation data for Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

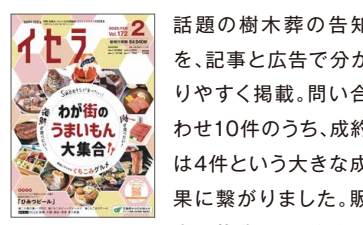
Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

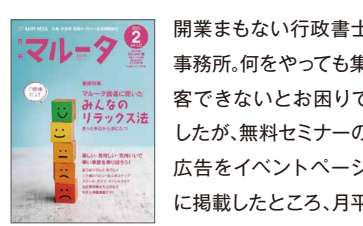
Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table of magazine circulation data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

掲載レスポンス 「地域みっちゃく生活情報誌」に掲載した広告の反響をご紹介します。



話題の樹木葬告知戦略で成約率4割を実現



イベント広告の定期的な掲載で集客の安定に成功

情報誌見積サイト 「HAPPY MEDIA GUIDE」 全国で配布しているフリーマガジン「地域みっちゃく生活情報誌」への広告出稿の見積作成、問い合わせが可能!

\*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

20日間でQR読み込み1,200回超！

地域みっちゃく生活情報誌

## インスタ集客を加速する情報誌の活用術

2024年11月、愛知県の東郷町にオープンした24時間営業の無人販売店。地元への周知に、エリア到達率の高い『地域みっちゃく生活情報誌』2誌へ出稿いただきました。

無人販売店のため、クーポン掲載はできませんでしたが、入荷商品やお得な情報をインスタグラムで定期的に配信し、リピーターになってもらおうと、フォロワー獲得を目的とした原稿を掲載。12月号のオープン記念特価の告知では、Instagramで目玉商品の配信があることを伝えた結果、QRコードの読み込みが1,989回あり、フォロワーを300人以上増やすことができました。

2月号は、新商品の入荷情報とインスタ誘導告知掲載で1,274回のQR読み込みがあり、フォロワーは1,299人(2025年2月12日時点)と、さらに400人以上の獲得となりました。リピーターになりやすい地元フォロワー獲得をお考えの方は、ぜひご相談ください。  
(さんごくらぶ編集室・戸谷)



全国へ愛知県の魅力を発信！

冊子&デジタルブック

## 愛知県へ教育旅行を誘致する冊子&デジタルブック

あいち教育旅行誘致促進協議会が発行する『旅学あいち』の冊子とデジタルブック制作を受託しました。学習指導要領が2020年度に改訂されたことによる冊子の全面リニューアルを実施しました。

愛知県ならではの歴史、文化、産業などを通して、旅行前にはなかった知識、経験、価値観を得られるように、テーマは「あいちで発見 新しいわたし。」に設定。モデルコースや学習に役立つスポット、体験を60件以上紹介するほか、愛知県の特徴や、実際に教育旅行に訪れた学校の声なども掲載しました。パソコンやスマホから気軽に閲覧できるデジタルブックも作成。QRコードからぜひご覧ください。

当社は『地域みっちゃく生活情報誌』を30年以上制作してきたノウハウを生かし、地域の魅力を伝える媒体づくりが得意です。媒体リニューアル、新規創刊もお任せください。

(NAGOYA FURIMO中央版編集室・塩原)



市内の2大入浴施設を徹底レポート

地域みっちゃく生活情報誌

## 風呂の日(2月6日)に合わせた湯めぐり特集

奈良県橿原市にて発行する『かしるくらぶ』2月号にて、市内で人気の高い湯処・銭湯を紹介する「橿原市の湯めぐり」特集を実施。2月6日の風呂の日に合わせて企画を立ち上げ、「市内の温浴施設、あなたはどっち派？」と銘打って2施設限定の特集としました。

メインとなるお風呂やその効能はもちろん、サウナや館内グルメも同時に紹介。今年の2月は非常に強い寒波が全国を襲い、「外出したくない」と消費行動は停滞傾向でしたが、「地元ですぐに行ける」「お出かけ気分を味わえる」「温まることができる」というコンセプトが読者に刺さり、多くの来店につなげることができました。読者プレゼントとして提供いただいた入浴券には、多くの読者から応募が集まり、注目度の高さを物語る結果となりました。

今後も季節や地域に合った企画を立案し、地元店と読者をつなぐ架け橋になれるよう発行に努めてまいります。

(かしるくらぶ編集室・松下)



食品ロス削減啓発キャンペーンを支援

SP

## 市民参加型企画で食品ロス削減へ

10月の食品ロス削減月間に合わせ、2R推進実行委員会・名古屋市長が主催する「はち丸とめざせ!食品ロスゼロなごや大作戦」をお手伝いいたしました。

本キャンペーンはイラストコンテスト、クイズ&アンケート、イベントブース出展の3本立てで実施。「食品ロスをなくすためにできること」をテーマに募集したイラストコンテストには、子どもから大人まで多くの方に参加いただき、419件の応募が集まりました。応募作品をまとめた大作戦ブックのほか、入賞作品を掲載したカレンダーも作成し、1年を通して啓発に繋がる企画といたしました。どちらも特設サイトからダウンロードいただけます。

1月に行われた上位入賞作品の表彰式では、2R推進実行委員会委員長からの総評とともに参加者からのコメントもいただき、市のマスコットはち丸も登場して会場を盛り上げました。当社では年齢層に合わせ、参加しやすい仕組みづくりを提案いたします。啓発施策をお考えの際は、ぜひご相談ください。

(名古屋SP1課・尾関)



CHUCO CLUB

## 『女子大小路の名探偵-新章-』舞台、チケット好評発売中

舞台『女子大小路の名探偵 新章』『死は、ど真ん中に転げ落ちて』の一般販売が、1月18日より開始しました。本作が舞台初主演となる剛力彩芽さん、脚本・演出は原作者である秦建日子さんが担当します。公演は3月15日~23日の期間、東京・銀座の博品館劇場にて計11回行われます。詳しくはオフィシャルサイトをご覧ください!

(クリエイティブ部・佐藤)



▲剛力彩芽さんが自身初となる舞台主演を務めます

詳しくは特設サイトをご覧ください



## CBCテレビの番組制作に協力

CBCテレビの報道・情報番組「チャント!」(月~金 15:49~19:00)の木曜コーナー「暮らしのハッピーレンジャー」に、トレンドを紹介するレンジャーとして出演中です。東海3県に寄り添うことがコンセプトの同番組と、東海3県で56誌の情報誌を発行し世帯到達率が7割になる当社は親和性が高く、協力することでより楽しい情報をお届けできれば幸いです。

(広報・マーケティング担当 岡本)



▲CBC 南部志穂アナウンサー

## 第3四半期決算開示、業績予想修正

2月7日、第47期第3四半期累計(4月~12月)の連結決算短信を開示しました。売上高は83億210百万円と前年同期比約2割の増収でしたが、原価や販管費の上昇およびシステム投資等により、経常利益は1億59百万円と前年同期横ばいでした。当決算を踏まえ、通期見通しを経常利益3億20百万円(前期比+4%)など、配当予想を前期同額の12円に、修正しました。(管理本部・倉橋)

## 編集室移転のお知らせ

2月27日に、岡崎フリモ編集室(愛知)が下記住所に移転しましたのでお知らせします。

住所	連絡先
〒444-0864 愛知県岡崎市明大寺町字川端19-13 山七東岡崎ビル405号室	TEL 0564-83-7121 FAX 0564-83-7131

VCTOPIC

北海道『地域新聞ふりっばー』総合商研株式会社

## 地元の子どもの出演で地域密着性をPR

2月号の巻頭特集では「感謝を伝えよう」をテーマに、地元・札幌の子どもたちから親や友人、身近な人への感謝のメッセージを集め、寄せ書き風に掲載。誌面に掲載しきれなかったメッセージは動画で視聴できるようにし、誌面とウェブの連動で、より多くの方楽しんでいただける工夫を施しています。さらに大切な人への贈り物にぴったりな商品やサービスを紹介する企画もつくり、広告も連動。表紙には子どもたち

の写真を掲載し、媒体の強みである地域密着性の向上を狙いました。読者からは「表紙がかわいらしくて目を引いた」「寄せ書きがほっこりした」というお声をいただきました。

今後も地元の「人」に焦点をあて、地域密着の媒体として愛される企画を展開していきます。



▲2月号「感謝を伝えよう」表紙と寄せ書き誌面

部署だより NO.134

## エリア開発室『えるびん』編集室



▲「えるびん」編集室のスタッフ

2月25日創刊の『えるびん』は、広島県福山市で65,000部を発行する『地域みっちゃく生活情報誌』です。元々『リビングふくやま』を発行していたスタッフが丸となって頑張っています。

福山市は広島県の東端に位置し、瀬戸内海と中国山地に囲まれた温暖で自然豊かなエリアです。人口は約45万人。観光地として有名な鞆の浦は、さまざまな作品の舞台になった歴史と情緒あふれる港町です。

そんな地域で40年間続いた「リビングふくやま」を休刊したときには、「40年間ありがとう」「休刊になって寂しい」など、読者から感謝や休刊を惜しむ声がたくさん届きました。温かい声に励まされ、「地域の皆さんに役立つ情報をお届けしたい」という強い思いを胸に、『地域みっちゃく生活情報誌』として再スタート。読者の笑顔を思い浮かべながら、創刊号準備にまい進いたしました。地域ナンバーワンの情報誌を目指し、長く愛される存在となれるよう努めてまいります。

(えるびん編集室・平川)

## 編集後記

先日、興味深い記事を読みました。世界的に見ると、高い声を好む国は少ないのだそうです。特に興味深いのは、日本人女性は求められる「女性像」に合わせて声が高くなったという説です。男女格差の小さい北欧女性は声が低く、格差の大きな日本人女性は世界で一番声が高いという話もあり、お国柄が出ているのかもしれませんが。

私の声は低いのですが、「もしかしたら男女格差を感じない職場環境が影響しているのかも?」と考えさせられました。当社では、女性従業員比率が7割に迫り、管理職比率も安定しています。こうした環境が、社員一人ひとりが自然体でいられる雰囲気をつくり、声を高くする必要がないのかもしれない。

3月、採用活動が始まります。当社は誰もが自分らしく活躍できる会社ですので、ぜひご検討ください。

(広報・マーケティング担当 岡本)

HAPPY MEDIA

## 『ままこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園  
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等  
【仕様】 冊子A5版 オールカラー

【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)

【発行部数】 みやぎ版/25,000部 ちば(中部版)/50,000部  
群馬版/60,000部 ちば(北西部版)/50,000部  
埼玉東版/25,000部 岐阜版/60,000部

## 『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校  
【仕様】 冊子A4 オールカラー  
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県



## 『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国  
【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営

【登録講師数】 7,000名  
【年間実施件数】 400件以上



キーワードや、ご予算ジャンルを絞って講師を検索できます

## クーポンアプリ「フリモ」

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

対応OS iPhone: iOS14.0以上 Android: 7.0以上  
※ダウンロード数 482,715件(2025年2月19日現在)





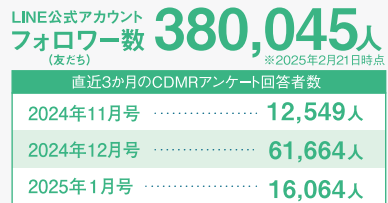
# 約38万人のSNSフォロワーが支えるマーケティングデータ 「CDMR」から見る『地域みっちゃく生活情報誌』

『地域みっちゃく生活情報誌』では、2019年10月よりSNSを活用して読者の意見を収集しています。情報誌の感想や、毎月のテーマに沿った回答を「CDMR(中広デジタルマーケティングリサーチ)」に集約・分析し、読者の傾向を明らかにしています。中広独自のマーケティングシステム「CDMR」と、そこから得られた読者属性について解説します。

## 毎月約1万人の読者が回答

『地域みっちゃく生活情報誌』では、読者プレゼントの応募方法としてSNS「LINE」を活用しています。応募時にLINE公式アカウントをフォロー(友だち登録)することで、アンケートに回答いただいています。2019年10月から開始し、現在では12のエリア別アカウントを運営。フォロワー(友だち)数は約38万人に達しています。

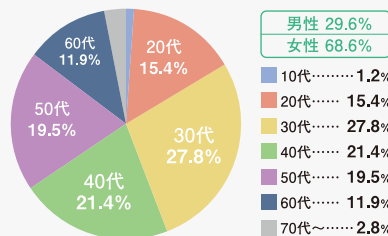
毎月集まるアンケート回答は平均1万人を超え、全国各地から寄せられる読者の声を性別・年齢別にセグメントして詳細に分析。Data Drivenで得た知見は、『地域みっちゃく生活情報誌』の企画や広告表現に反映されています。読者1万人の声が、情報誌の魅力なコンテンツを支えています。



## 20代から60代まで幅広い読者層

2025年1月号で実施したCDMR『地域みっちゃく生活情報誌』に関する媒体調査によると、20代~60代の各年代がいずれも10%以上の割合を占め、世代を超えて幅広く読まれていることがわかりました。特に30代~40代の読者が多く、購買力の高い層が中心です。男女比は男性29.6%、女性68.6%。また、73.9%が配偶者と同居しており、18歳未満の子どもを持つ世帯が多い傾向にあります。

## 『地域みっちゃく生活情報誌』読者年齢別・性別割合



コア読者層は30代の既婚女性で、18歳未満の子どもを持つ世帯です。こうした背景から、ハウジング、子どもの習いごと、美容など、情報誌のコンテンツと読者ニーズの親和性が高いと考えられます。

## 新聞・折込チラシとの比較

### ●新聞・折込チラシ

2025年1月号のCDMRでは、情報誌の感想や意見に加え、新聞購読率や折込チラシの利用状況も調査しました。新聞を購読していない世帯は、2020年1月調査時点で59.8%でしたが、2025年には68.3%に増加。5年間で8.5ポイント増加しました。インターネットやテレビで無料の情報が得られるため、特に若年層の新聞離れが進んでいると考えられます。ただし、依然として30%以上の世帯が新聞を購読しており、情報伝達力は健在です。また、新聞に同封される折込チラシは、新聞購読者の94%が閲覧しており、広告としての訴求力は高いと言えます。ただし、即時性が高い反面、保存率は低く、読んだ後すぐに捨てる人が多い傾向にあります。折込チラシを1日以内に捨てる人は43.5%、1週間以内に捨てる人は69.8%という結果でした。

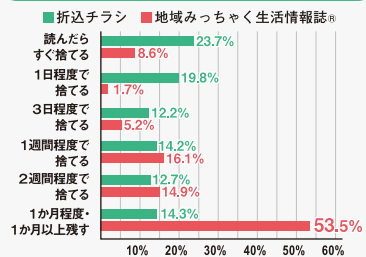
### ●『地域みっちゃく生活情報誌』

『地域みっちゃく生活情報誌』は、無料配布のポスティング型フリーマガジンであり、読者調査では約7割が新聞を購読していません。そのため、新聞や折込チラシではリーチが難しい層にも情報を届けることが可能です。

また、冊子形式のため保存率が高い点も特徴です。「一度で読み切れない」「クーポンを後で使うかもしれない」といった理由で手元に残す読者が多く、世帯単位で回覧される傾向にあります。調査によると、1日以内に捨てる人は10.3%、1週間以内は31.3%、1か月程度保存する人は53.5%。折込チラシと比較して圧倒的に保存率が高いことがわかります。

このように、『地域みっちゃく生活情報誌』は新聞・折込チラシとは異なる特性を持ち、幅広い層へのリーチと高い保存率を誇るメディアであることが明らかになりました。

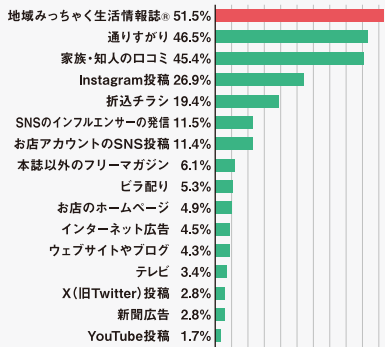
## 媒体保存率の比較 (届いてから捨てるまでの時間)



## 「検索」前の「認知」に強いメディア

昨年10月に実施したCDMRでは、「地域の新店舗オープン」に関する意識調査を行いました。「近所に新しいお店がオープンした際、その情報をどのように知ることが多いですか?」という質問では、SNSやインターネットを上回り、『地域みっちゃく生活情報誌』が最も高い結果となりました。これは、インターネットなどのブルメディアと、情報誌のプッシュメディアの違いによるものと考えられます。

## 近所に新店舗がオープンした時、その情報をどのように知ることが多いですか?



ブルメディアは、ユーザーが自ら情報にアクセスする必要がありますが、プッシュメディアはユーザーの意志や行動に関係なく、一方的に情報が届きます。『地域みっちゃく生活情報誌』が新店舗情報に強いのは、地元情報に特化したプッシュメディアだからです。新店舗情報はオープンするまで「認知」が低く、知らなければ検索されません。『地域みっちゃく生活情報誌』は、一方的に情報を届けることで「認知」を生み出す役割を担い、店舗の利用や検索という行動につなげます。

新店舗オープンなど、地元での認知拡大を目指す際は、ぜひご相談ください。

**会社概要**

商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)  
東証・名証 証券コード【2139】

創業 1978年  
資本金 4億430万円  
従業員 456名 グループ全体 696名 (2025年2月末現在)

**事業内容**

フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業  
セールスプロモーション事業 通信販売事業  
クロスメディア事業 VC事業(ボランティア・チェーン)

**理念** 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)

**社是** 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)  
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄を!)

**社訓** 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

**グループ会社**

株式会社中広メディアソリューションズ <https://chuco-ms.co.jp>  
株式会社ケイ・クリエイト <http://www.k-create.co.jp>  
株式会社ケイビーエス <http://www.post-kps.co.jp>  
株式会社 関西ぼど <https://www.kansaijado.co.jp>



## 第47期 基本方針

スローガン Data Driven テーマ 全員経営

**オフィシャル運営サイト**

- 中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ (WEB)
- 講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他
- 販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト)
- ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMM)

**公式アカウント**

- Facebook ●YouTube
- Instagram ●X(旧Twitter)

**加盟団体**

- JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

リンク集はこちら

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

## 営業拠点

<p><b>■ 本社</b> 岐阜本社 岐阜市東興町27 TEL.0770-24-2622</p> <p><b>名古屋本社</b> 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.055-221-0682</p> <p><b>■ FM・SP事業部</b></p> <p>《北海道》 SORA編集部 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>AO編集部 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p> <p>《宮城県》 とみず!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p> <p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集部 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>《福井県》 ほろんくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《山梨県》 ParuPi・ピグレ編集部 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682</p> <p>《岐阜県》 GiFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOアラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんどんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きらくらぶ編集部 関市市玉通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>伊勢崎フリモ おひくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集部 土岐市東西山1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>	<p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p> <p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区藤森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ編集部 名古屋市長区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p> <p>守山フリモ アサヒセト・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒセト]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモかわら編集部 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>福岡SP部 リブル倶楽部編集部 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ編集部 藤原 岡崎市明大寺町字川端19-13 4F TEL.0564-83-7121</p> <p>西尾フリモ・オレンジクラブ編集部 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>《三重県》 かしらくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p> <p>Belive club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴ〜ず編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リークラグクラブ編集部 名張市浦之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセラクラブ編集部 伊勢市岩渕3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からつと倶楽部編集部 尾鷲市坂崎西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっとくらぶ編集部 志摩市阿児町勝方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p>	<p>《奈良県》 かしらくらぶ編集部 橿原市葛本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいなが・まいとん編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>リークラグクラブ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《広島県》 はつカラ編集部 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673</p> <p>えるびん編集部 福山市丸之内1丁目3-9 3F TEL.084-926-4526</p>	<p>《滋賀県》 ぼてじゃく倶楽部編集部 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>《福岡SP部》 こんざくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウティクラブ編集部 近江八幡市坂宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p> <p>ひわこと・湖南フリモ編集部 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《佐賀県》 月刊TOSS編集部 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p>	<p>《VC事業部》 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>《グループ戦略統括事業部》 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>《管理本部》 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p> <p>《グループ会社》 株式会社関西ぼど 本社 大阪市西区粉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p> <p>北大阪支社 豊原市大和町10-10 1F TEL.072-827-0817</p> <p>東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-729-8101</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>山形オフィス 山形市鷹訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧寺南125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
--	--	---	--	---	--	--

※従業員数はグループ会社含む ●おもなCSR・CSV活動 ●地域みっちゃく生活情報誌®